

沼津市立図書館協議会先進都市視察 報告書

日時 平成28年10月20日(木) 午前7時30分～午後6時30分
視察先 武蔵野プレイス、ルミエール府中(中央図書館)
参加者 委員 匂坂会長、荒木副会長、山田委員、但馬委員、片渕委員、高地委員、神田委員
事務局 杉山館長、芹澤事務長、後藤事務長補佐、指田図書係長

【武蔵野プレイス】 10:40～12:10

1 概要説明 奥野副館長

○ 特徴について

武蔵野プレイスは、図書館をはじめとして「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」の4つの機能を併せ持った複合施設である。

それぞれが持つ情報を共有・交換しながら、交流が生み出され、地域社会を活性化させることで地域社会の魅力を高めることに寄与する公共施設を目指している。

「プレイス」＝「場」は、子どもから年配の方まで多世代にわたる交流を生み出す「場」という意味が込められている。

○ 建設経緯について

もともとは、農林省の食糧倉庫跡地であったが、公共用地が不足していたことと、駅前の一等地に地域の活性化に寄与する市の施設を建てて欲しいという住民の熱い思いがあり、払い下げを要望した。

平成20年度に市の第4期長期計画において、この地域のまちづくりの核として施設を位置づけることとし、施設のコンセプトとして、図書館を中心とした情報発信の複合施設を建設することが決定した。平成21年に建設工事を開始し、その後、運営方針の策定や条例の制定を行い、平成23年にオープンした。

○ 運営組織について

市における所管課は、武蔵野市教育委員会生涯学習スポーツ課であり、公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団が指定管理者となって運営している。

この事業団は、もともと体育施設の管理運営やスポーツ振興事業を担っており、その後、スポーツに限らず、幅広く生涯学習を展開するため、平成22年に現在の名称に変更した。現在は、武蔵野プレイスの他、6つの体育施設などの指定管理者となっている。

武蔵野プレイスを市の直営ではなく、指定管理としたのは、開館時間の延長など民間でなければできない柔軟な時代にあったサービスが提供できると考えたからであり、また、市の第5期長期計画の中で、公の施設管理は、財政援助出資団体を積極的に設立し、行政サービスと組み合わせる取り組みを意図的に行うよう方針が示されているためである。

指定管理者の職員は、約100名でそのうち図書館職員は約70名である。市からは9名が派遣されているが、特徴として、嘱託職員や臨時職員は、他の自治体では補助的な仕事をしているが、ここでは、事業の企画やイベントの実施などにおいて中心になって動いている。

雇用形態については、今まで5年契約であったが、労働基準法の改正などや、プレイスが出来てか

ら5年になるのを契機に、試験を行い合格した方については、無期雇用に切り替える予定である。

指定管理料は、約5億1千万円であり、そのほとんどが人件費で、その他は施設管理として駐輪場の管理を行っている。146台の自転車が止められるが、駅への通勤・通学の手段を含め、自転車の利用が非常に多く、土日は足りなくなる。

また、地域の活性化を施設のミッションとしているため、公園管理を行うとともに公園でのお祭りやイベントにも参画している。

○ 図書館について

武蔵野市は、中央図書館、吉祥寺図書館、武蔵野プレイスの3館の図書館を設置しており、3館合計で約88万9百冊の蔵書がある。

また、武蔵野市は3つの駅があり、それぞれの駅の徒歩圏内に図書館を設置する3館構想により、市内全域へサービスがいきわたるよう運営が行われている。

それぞれの図書館の特徴として、中央図書館は市のほぼ中央に位置し、最も多くの蔵書があり（中央館のみ保存書庫あり。）視聴覚資料（吉祥寺CDのみ、プレイス無し）も充実している。文字どおり中心的な図書館である。

吉祥寺図書館は、通勤・通学や買い物途中に立ち寄れる図書館運営を行っている。

武蔵野プレイスは、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援の4つの機能を併せ持った施設であることから、人々が出会い、地域の活性化に寄与できる運営を行っている。

登録者は、武蔵野プレイスが出来たことにより、半数が市外の方となった。また、人口が14・15万人の全国の同規模自治体の中では一番の貸出数を誇っている。

武蔵野プレイスの特徴として、雑誌を620タイトル所蔵していることと、ヤングアダルト向け資料の充実とともに、さまざまな若者向けイベントとの連携が挙げられる。

2 施設内見学 奥野副館長案内

・3階 ワークラウンジ

市民活動団体のサービスステーションとして立ち寄ることができ、打ち合わせや、情報収集、相談などを行えるフロアとして会議室、学習スペースなどがある。

・2階 コミュニケーションライブラリー

生活に関連した図書をテーマごとにまとめた「テーマライブラリー」と「こどもライブラリー」のほか、親子や家族で一緒に読書が楽しめるフロアとなっている。

・1階 パークラウンジ

エントランスホールの中央に自動貸出機や新着本コーナー、返却資料棚を設置している。

また、カフェがあり、コミュニケーションの場として、飲み物や軽食を提供し、交流のきっかけの場となっている。

・B1階 メインライブラリー

約75,000冊の図書及び200誌の雑誌のバックナンバーを配置した図書館機能の中心的フロアとなっている。

・B2階 ティーンスタジオ

青少年が気軽に利用できるフリースペースや、自主的な創作活動を支援するためのスタジオ等があり、また、芸術系や青少年向けの図書コーナーがある。

3 質疑応答 奥野副館長

高地委員

○ 3つの図書館の違いは。

回 答

武蔵野プレイスは、「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」の4つの機能を併せ持った複合施設であることから、それぞれが連携して一体となることで自然に生み出される出会いの場を提供することである。

吉祥寺図書館は、商業地域に設置されていることから、ビジネス支援などを行っている。

中央図書館は、唯一保存書庫を持ち、プレイス及び吉祥寺図書館から5年を目安に除架した図書を市全体として1冊は保存している。

各館はそれぞれ地域の特性に合わせた運営を行っており、3館全体で市内全域にサービスが行きわたるよう、図書館運営を行っている。

○ 本館への指定管理者制度導入の予定はあるか。

回 答

無い。

武蔵野プレイスの場合、4つの機能を融合させるコンセプトがあるため、直営の弊害となっている縦割りを取り除き、一体的管理を実現するために指定管理者制度を導入した。サービスの向上としては、夜10時までの開館などが挙げられる。

なお、第5期長期計画において、公の施設管理等については、直営より、財政援助出資団体に運営させることを方針としており、指定管理者選定において、市の施策と直接に密着したものは非公募としている。

匂坂会長

○ 直営の図書館とプレイスの職員の雇用形態は違うのか。

回 答

直営の図書館の職員は、市の職員であるため、市の人事制度に従い定期人事異動の対象となる。プレイスの職員は、公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団の職員のため、財団の雇用形態となる。

○ 本館と他の図書館職員とでは給与体系は違うのか。また、能力給はあるのか。

回 答

それぞれ勤務時間や仕事内容が違うので比較できない。能力給は導入していない。

○ 3つの図書館職員の力に差が出ないよう同レベルにするためにどんな研修を行っているのか。

回 答

長期的な視点に立った図書館の人材育成計画を策定し、計画に基づき定期的に研修を行っている。

詳しくは、「武蔵野市の図書館」62ページを参照

1 概要説明 酒井館長及び山本館長補佐

○ 図書館の歩みについて

中央図書館は、大国魂神社境内に昭和42年に開館したが、老朽化と共に建て替えが検討された。同時期に、市民会館についても建て替えの話が持ち上がり、2館は同じ敷地に建てられていたこともあり、複合施設として建設されることとなった。

また、市民会館と中央図書館を複合施設として整備することにより、人と情報が交流する場を創出し、新たな文化・コミュニティ推進の拠点となることを目指した。

その頃、公共施設建設の手法として民間資金を活用したPFI方式が各地で行われており、府中市もその手法を取り入れることに決定し、平成19年市民会館と中央図書館の複合施設が開館した。

○ 施設運営について

PFI方式に基づき選定事業者が、新たに「府中市市民会館・中央図書館」の設計・建設及び維持管理並びに運営の一部を行うことを事業の範囲としている。

図書館に関しては、資料の選定、利用者登録、相互貸借、レファレンス及び学校図書館との連携などを、市の直営で行い、窓口業務、資料の納入・装備・データ入力及び物流などはTRCが行っている。

蔵書数は、中央図書館が約92万5千冊あり、そのうち約60万冊が地下の書庫に保存されている。また、市内各館合計すると約144万冊の蔵書がある。

各階の特徴は、1・2階が市民会館で3階から5階までが図書館である。3階は雑誌・新聞、文庫、新書など利用しやすい資料と児童書が置かれており、4階は専門的な図書や視聴覚資料及び研究個室がある。5階は146席学習室と事務室がある。

2 事前質問事項に対する回答について 山本館長補佐

別添「事前質問への回答（府中市立中央図書館）」に基づき説明。 別添資料を参照

3 施設内見学 酒井館長、山本館長補佐及び女性職員案内

最大の特徴は、地下の自動出納書庫であり、約70万冊の収容能力がある。コンピュータ制御により、書架の有効活用、配架・貸出・返却作業の効率化などにおいて威力を発揮している。

図書には、ICタグを付け、自動貸出機、自動出納書庫などと連動し、貸出・返却・配架の作業を効率化、迅速化している。

また、予約されて貸出準備ができた資料については、専用の部屋があり、ICタグと連動し、予約資料のある棚を光で示すことができる。なお、自分で貸出手続きが行える。

沼津市立図書館の姉妹都市コーナーと同様に、府中市の友好都市であるウィーン市の図書館から寄贈された資料や品々を収める部屋は豪華で洒落ていた。

4 質疑応答 酒井館長、山本館長補佐及び女性職員

匂坂会長

- 3階に市とTRCの両方の図書の展示があったが、内容はどのような違いがあるのか。
また、講座なども市とTRCの両方で行っているようだが、役割分担はあるのか。

回 答

講座の場合は、要求水準の中に年間10回程度行うよう記載されており、例えば、音楽会やバリアフリーの映画会などを行い、図書館の利用促進を図っている。市は独自で講師を選定し、行っている。展示の場合は、TRCが提出する年間計画の中で、どんなことをやるか決められており、市は府中市が主催するイベントやキャンペーンに合わせた展示を行っている。例えば美術館の特別展示と合わせての展示や、著名な方が亡くなるとその人の特集展示などを行っている。

事務長

- 正規職員の専門職は一人もいない。概ね5年で異動するということが、嘱託職員や臨時職員はどのような雇用か。

回 答

嘱託職員は全員司書資格を有している。市の職員は、資格の有無は関係なく、館長の私も有資格者ではない。いわば素人である。市の職員は平均5年で異動するが、中には前館長のように、20年以上図書館に勤務した職員もいる。

臨時職員は、主に地区館に配属されており、TRCの職員は約60人で勤務体制は早番、中番、遅番など6種類に分かれ勤務している。

市の職員の勤務時間は、8:30から17:15までであり、そのうち3人は遅番勤務として10:30から19:15まで勤務している。19:15が過ぎると市の職員はいなくなり委託業者の職員だけとなる。

館 長

- 管理を担当している部署は市長部局であるが、実際の内容は教育関係である。予算は教育費か。

回 答

府中市も以前は、教育委員会の中に学校教育部と生涯学習部があり、図書館は生涯学習部に含まれていたが、数年前に生涯学習部を教育委員会から市長部局に移管した。しかし、図書館、体育館、美術館などの予算は教育費である。

市長部局に属し、補助執行というかたちで教育委員会の事務を行っているが、例えば条例制定など何かを決定する時は、教育委員会に諮り運営は市長部局が行う。

匂坂会長

- 市長部局の所管部署はどこか。

回 答

文化スポーツ部である。

- PFI導入と同時に所管替えを行ったのか。

回 答

違う。前市長は文化に対し思い入れがあったからだと思う。

○ 地下書庫はP F I 導入時に同じグループにT R C が加わったためにできたのか。

回 答

市民会館と図書館を一緒に建設するにあたり、敷地に余裕がなかったので縦に伸ばすしかなかった。
何十万冊の図書を保管するのに、自動出納書庫の導入提案が出され決定した。